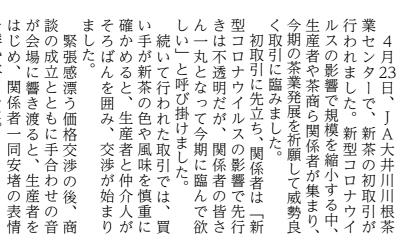
新茶初取引

緊迫の価格交渉 手合わせの音で締める







全国茶品評会 出品茶摘採 摘み取る手に込める産地の思い

第74回全国茶品評会

【開催地】鹿児島県南九州市 【審查会】令和2年8月25日~28日 【町内からの出品者(敬称略)】

- ▼【普通煎茶4+。の部】
 - ○相藤農園 (相藤直紀)
 - 相藤園 (相藤令治)
 - ○川崎好和
- ▼【普通煎茶10+の部】
 - ○丹野園 (丹野浩之)
- ▼【釜煎り茶の部】
 - ○小平園 (小平史郎)
 - ○橋本立生



へと移されていきましたっため保冷車によって一カ所に回収され、鮮浦み取られた茶葉は い」と相藤園 徹底した。 茶 てんてれ町会いたらぞ内に →た 摘 派品 評 八工場 保 に

新茶の季節到来

新緑に染まる茶畑、爽やかな香りが町を包む



新型コロナウイルスの影で、新型コロナウイルスの影で、新菜シーズンを告げるで、新菜シーズンを告げるで、新菜した。 中、町は今年も変わらず茶中、町は今年も変わら月にかける月下旬から5月にかけるできました。 茶工場のせわしない音が聞遠からは摘み手の賑わう声のなに変わろうとも、毎年変なに変わろうとも、毎年変なに変わるうとも、毎年変なに変わろうとも、毎年変なに変わろうとも、たゆまぬがでいる方と、たゆまぬ努力を続けることのない「茶時」が到ることのない「茶時」が到ることのない「茶時」が到ることのない「茶時」が到ることのない「茶時」が到りません。 れてきました。その積み重ねの. 今年 を茶に送る で、良い で、良い で、良い たちが 中 音が聞こ から守った。 のけ到変ん てま自話来い茶いな身し栄おは





各農で

Þ

▲茶時最盛期、各地で見られるお茶刈りの様子 ◀休憩中のお茶摘みさんたち。「美味しいね」と お弁当に舌つづみ

今年も銘茶の名に伝統を引き継ぐ川! ふ根さ茶 茶なる影時るイ響

わ

いものに

ここにも、一つの物語。 広報かわねほんちょう 2